

坂本龍佑

さかもと

りゅうすけ

2024年 冬号

vol.07

通信

若さ

希望

行動力

31歳

連絡先(啓誠会控室) ▼ 市政相談はこちらへどうぞ

〒662-8567 六湛寺町10番3号 議員控室 啓誠会

電話 080-2448-1226

メール info@sakamotoryusuke.com

ウェブ sakamotoryusuke.com



各種SNSは
こちら!



ごあいさつ

11月に新会派「啓誠会」を結成しました。5人体制となりまして、これからも市政に是々非々の姿勢で取り組みます。そして、引き続き幹事長を務めさせていただきます。またこれからも政策提案型議員としての務めを果たして参ります。

42億円の赤字!!!

西宮市の財政状況は、 厳しい局面を迎えております。

西宮市は令和4年度決算において、実質単年度収支(一年間の収支)が42億円の赤字となりました。それに伴い、**財政構造改善基本方針**を発表。財政の立て直しに向けて、人件費や働き方、市民サービスについて見直すことが発表されました。具体的な40億円の内訳については、3月までに公表するということです。

ポイント!

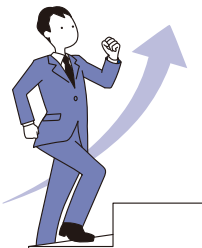
平成30年から西宮市の財政が赤字の傾向にあり、改善が必要であることは多くの議員が指摘しておりました。今回顕在化したことで、財政改善に向けた方針を発表しましたが、これまでの危機感のない取組に対しては、苦言を呈しました。

行政も会社も同じですが、本来日々改善に改善を重ねて、より良いものを作るものです。

危機が訪れたから突然行動を起こすわけではありません。

一方、今回の危機は**西宮市が変わるチャンス**でもあります。

財政の改善とその先の住民サービスの向上に向け、私も全力で取り組んでまいります!



..... 一般質問で訴えた政策がこうして実現しています!

市立西宮病院の跡地活用の見直し検討を提案

6月に一般質問で取り上げた西宮市立中央病院の跡地活用の見直しを求めた件について、予定していた私立病院の誘致、福祉施設、子育て施設への**土地の賃借を見直す検討を行うという発表をしました。**

「教育環境保全のための住宅開発抑制に関する指導要綱」について

令和4年6月の一般質問で取り上げた**住宅開発を抑制する指導要綱の緩和が、今年も見直されました。**昨年12年ぶりで、今年も見直し。西宮市の人口減少を止めるためには、必要な政策です。

01 学校給食における米飯給食の推進について

週3回の給食のご飯の回数はもっと増やしませんか？



質問

国は米飯給食を推進していますが、西宮市では現在週に3回ご飯、週に2回パンが提供されております。

子どもたちの健やかな成長、食料安全保障を通じた食材の安定した確保、郷土愛を育むこと、伝統的な食生活の定着といった観点において、有効と考えますが、回数増についてのお考えをお聞かせください。

また、自校炊飯設備の導入は、一食あたりのコストを大幅に下げるメリットがありますが、導入のお考えと実施に向けたアクションプランについてお答えください。

市の回答

米飯給食の実施の理想回数は4回と考えており、現在のところパンも週に1回程度残していくべきと考えている。

自校炊飯設備の導入については、コストメリットも大きいため、一年間かけて、それぞれの小学校における**スペースなど設備の導入可否について検討**し、その結果を提示したい。

参考資料

パン、米飯1食あたりの単価(令和4年度決算)

パン1食	64.57円	炊飯の外部委託は1日22,000食が限界。自校炊飯設備を拡大することにより、米飯給食の推進が期待できるだけでなく、1食あたりの価格が抑えられる。
外部委託米飯1食	64.43円	
自校炊飯1食	22.74円	

これからについて

自校炊飯設備の導入について、前向きな回答があったことは大きな進歩です。すぐに米飯給食の回数を4回に増加させることは難しいかもしれませんが、自校炊飯設備の導入によって、コストを削減するだけでなく、お米を食べる文化が継承されていくように、努めて参ります。

02 市立高校の存在意義と他市からの流出入について

市立高校を有することによるコストは、約7.7億円。生徒の26%は市外在住です。負担は誰がするの？

質問

西宮市は2校の市立高校を有していますが、それに伴う市の負担は、**年間約7.7億円**となっております。この2校の**他市在住の生徒割合は26%**で、国や県、他市に対して、負担を求めるべきではないでしょうか。

市の回答

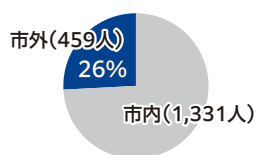
応益負担の考え方を調査研究し、その効果及び課題等を把握・整理したうえで、高校教育の改革や校区の再編、入学者選抜システムを担う兵庫県に対する要望や提案など様々な観点から、**市立高校に対する財政支援も含めた負担の軽減を求めて参ります。**

参考資料

市立高校の財源内訳(令和4年度決算)

R4 決算額	財源内訳				基準財政需要額(b) (国からの交付税)
	国県 支出金	地方債	その他	一般財源(a)	
21.5 (億円)	0.1	0.4	2.6	18.5	10.8
実質負担額(a-b)					7.7億円

市立高校2校に通う 生徒の居住地割合 (3学年合計)



これからについて

市立高校に他市から生徒が来ることについては、多様な生徒がいることのメリットも大きく続けるべきと考えております。しかし、県立高校の統廃合が進む中、市立高校を有していることの負担を市が単体で負い続けることは市民の負担が大きく、公平性に欠けるため、兵庫県に対する財政支援を求め、財政の健全化に向け、要望を続けて参ります。



「西宮市議会 議会中継」のウェブサイトにて坂本龍佑の質問動画を見ることができます。議会で配布した資料も掲載されておりますので、質問内容の詳細はこちらでご確認ください。